

# 令和7年度 可児市の予算

～ 住みごこち一番・可児 に向けて ～



**かにっこlabo**  
BUS TOUR 2024  
地元のカッコイイを探しにいく

## 目次

- P1 令和7年度 可児市の予算について
- P3 重点方針 子どもの笑顔と  
子育て世代の安心づくり
- P5 重点方針 高齢者の安気づくり
- P6 重点方針 地域・経済の元気づくり
- P7 重点方針 まちの安全づくり
- P8 DX・GX
- P9 一般会計 資料編

## 表紙の写真

共栄鋼材㈱の皆さんと、かにっこlaboに  
参加した子どもたち

# 住みごこち一番・可児

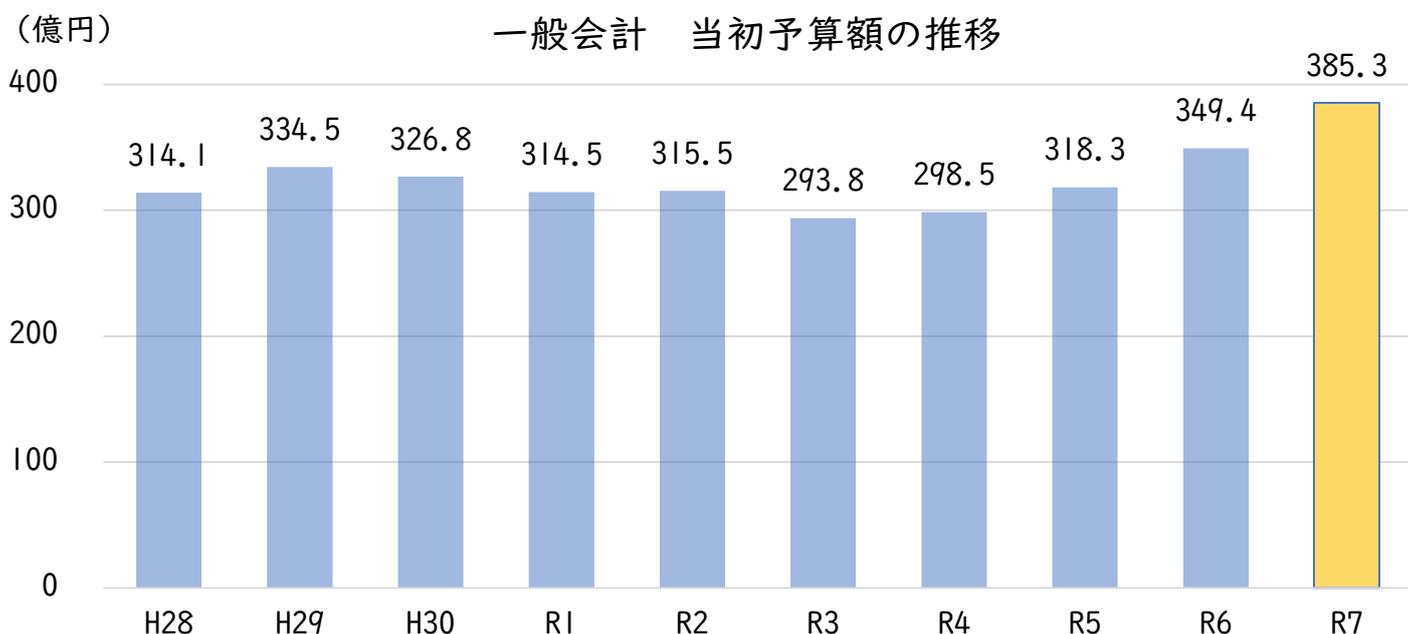
～すこやかに、にぎやかに、おだやかに暮らせるまち～

昨年からスタートした市政経営計画では、「住みごこち一番・可児」の実現を目指して、「高齢者の安気づくり」「子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり」「地域・経済の元気づくり」「まちの安全づくり」の4つを柱としています。その中でも特に「子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり」を重視し、学びや遊びの場の環境を整えるなど、可児の子どもたちの笑顔に繋がる取り組みを進めます。

また、高齢者の方が移動に不安を感じることなく暮らせるよう支援をしたり、地域で活躍する人材を増やす「地育地働」の取り組みを進めたり、市民の皆さんが安心して暮らせるようなインフラ整備にも力を入れ、暮らしやすい魅力あるまちづくりを目指します。

## 令和7年度 可児市の予算

会計	令和7年度	令和6年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
一般会計	385億3,000万円	349億4,000万円	35億9,000万円	10.3
特別会計	197億3,440万円	202億5,560万円	△5億2,120万円	△2.6
企業会計	89億円	76億5,300万円	12億4,700万円	16.3
総計	671億6,440万円	628億4,860万円	43億1,580万円	6.9



## 特別会計・企業会計 予算額

会 計	令和7年度	令和6年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
国民健康保険事業特別会計	92億9,500万円	99億100万円	△ 6億600万円	△ 6.1
後期高齢者医療特別会計	19億3,300万円	18億6,200万円	7,100万円	3.8
介護保険特別会計	82億5,980万円	79億8,970万円	2億7,010万円	3.4
保険事業勘定	82億5,100万円	79億8,200万円	2億6,900万円	3.4
介護サービス事業勘定	880万円	770万円	110万円	14.3
自家用工業用水道事業特別会計	1億6,200万円	1億6,200万円	0円	0.0
可児御嵩インターチェンジ工業団地 開発事業特別会計	6,000万円	3億1,780万円	△ 2億5,780万円	△ 81.1
財産区特別会計	2,460万円	2310万円	150万円	6.5
土田財産区	330万円	330万円	0円	0.0
北姫財産区	600万円	600万円	0円	0.0
平牧財産区	520万円	520万円	0円	0.0
二野財産区	180万円	180万円	0円	0.0
大森財産区	830万円	680万円	150万円	22.1
水道事業会計	41億9,400万円	28億3,500万円	13億5,900万円	47.9
下水道事業会計	47億600万円	48億1,800万円	△ 1億1,200万円	△ 2.3
合 計	286億3,440万円	279億860万円	7億2,580万円	2.6

# 可見っ子の成長 × 子どもの笑顔と



重点方針

## 子育て世代の安心づくり



赤ちゃんがお腹に  
いるときから



子どもとの暮らしが  
始まったら



### ■ 子育て家庭を応援

#### 妊婦等包括相談・支援給付（6,707万円）

妊婦の皆さんや子育て家庭に寄り添いながら、いっしょに出産や育児の準備を進められるよう、面談を通じて不安や悩みをお聞きし、必要な情報を届けながら適切な支援につなげる「包括相談支援」を行います。また、妊娠の届け出をされた方に5万円と、妊娠している子ども1人につき5万円をお渡しします。

### ■ 赤ちゃんとお母さんが

安心して出会えるように

#### 充実→ 母子健康教育・健康診査事業

（1億1,393万円）

安心して妊娠・出産を迎えられるよう、妊婦健診の費用を助成するなどのサポートを行います。

また、妊娠の届け出をされた方全員に、保健師や助産師が面談を行い、自身を担当する「マイ保健師」を紹介します。必要に応じて妊娠中の相談や訪問を行い、不安を和らげながら、安心して赤ちゃんを迎えられるようお手伝いします。

#### 住宅新築リフォーム助成金

（子育て世帯上乗せ）（850万円）

市内事業者を利用して、新築やリフォームを行う子育て世帯の方へ、通常の補助金に加えて、子ども1人につき5万円を追加で支援します。

#### 高等学校就学準備等支援金支給事業（3,060万円）

進学や就職を控えた中学3年生の子どもや保護者などに対し、子ども1人あたり3万円を支給します。

#### 第二子以降出産祝金（3,500万円）

第二子以降のお子さんを出産された方に、お祝い金として10万円を支給します。

### ■ 育児で不安を抱え込まないように

#### 新規 親子関係形成支援事業（150万円）

子どもとの関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者に対し、講義やグループワークなどを通じて、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相談、情報交換、子どもとの関わり方の知識や方法を身につける場を提供し、親子のより良い関係づくりをサポートします。

#### 充実→ 産後ケア事業（374万円）

産後の体調がすぐれない方や、育児に不安や心配がある方が、助産師に相談できる場を増やし、安心して育児ができるようサポートします。

PICK UP

### ■ 経済的支援の充実

#### 充実→ 子ども医療費（5億5,000万円）

令和7年4月から助成の対象を高校生世代まで広げ、子どもの医療費を無償化します。

#### 充実→ 児童手当（22億8,044万円）

高校生世代までの子どもを養育している方に児童手当を支給します。令和6年10月の制度改正により、支給対象が高校生世代まで広がり、第3子以降の手当額も増えました。

#### 充実→ 給食費の保護者負担軽減（7,000万円）

食材費の高騰が続く中でも、子どもたちにおいしい学校給食を提供し続けられるよう、高騰分を市が負担します。

#### 充実→ インフルエンザ予防接種費用助成（2,370万円）

令和7年度から高校1・2年生世代を助成対象に加え、1歳から18歳までの子どものインフルエンザ予防接種費用について、1回あたり最大2,000円を助成します。

“可” 能性あふれる “児” のそだつまち 可児で、  
「愛着」と「誇り」を持った可児っ子が育つように



～ マイナス10カ月から つなぐ まなぶ かかわる 子育て ～

保育園や幼稚園  
に入ったら



小学校・中学校  
に入ったあと



### ■ 多様な保育ニーズに対応

充実→ 保育園・幼稚園関連経費（24億3,057万円）

保育園や幼稚園の運営・支援を行い、保護者の多様な保育ニーズに対応します。また、障がいや発達に不安のあるお子さんが安心して通えるよう、加配保育士の配置費用を助成するなど、保育の体制の充実に向けて支援します。

令和7年度からは新たに、可児さくら保育園とかわい幼稚園の2園が認定こども園に移行する予定です。

### ■ 友達といっぱい遊んで、 いっぱい勉強できる環境づくり

充実→ 小中学校施設大規模改造事業

（17億1,314万円）

子どもたちが安心して過ごせるよう、トイレの洋式化など、学校施設の整備を進めます。

令和7年度は、前年度に引き続き桜ヶ丘小学校の長寿命化工事を進め、より安全で快適な学校環境を整えます。

また、学校トイレの環境を改善するため、全校のトイレの洋式化工事を令和8年度末の完了を目指して進めます。

充実→ 児童・生徒用タブレットの更新と  
ネットワーク環境の整備（1億4,930万円）

子どもたちの学びをより充実させるため、使用しているタブレットをiPadに更新し、豊富な教材を活用できる環境を整えます。

また、令和7年度からは校外でもインターネットが使えるようLTE通信環境を整備し、学習の幅をさらに広がります。

PICK UP

### ■ 全ての子どもの居場所を

充実→ 校内教育支援センターの体制強化  
（644万円）

不登校やいじめ、学校生活、親子関係の悩みなどに対応する「校内教育支援センター」に、新たに職員を配置します。子どもたちがいつでも相談できる居場所をつくり、不登校の予防や登校への復帰をサポートします。

充実→ 児童センターに屋外遊具を設置  
（2,000万円）

子どもたちが楽しく遊べる居場所を充実させるため、児童センターを利用する子どもたちの意見を聞きながら、帷子・桜ヶ丘児童センターに遊具を設置します。

スマイリングルームの運営（3,198万円）

不登校の子が体験活動などを通じて自立できるように支援する「スマイリングルーム」や、オンライン上で学習・相談をサポートする「メタスマルーム」など、さまざまな不登校支援を行います。

定住



生まれ育ったこのまちで  
住み続けたい



重点方針

# 高齢者の安気づくり



いつまでも住み慣れた地域で安気に暮らす



## ■ 高まる介護サービス需要に対応

### 介護サービス給付関連費（75億208万円）

高齢化が進み、介護サービスを必要とする方が増える中、安心してサービスを受けられるよう、安定的・継続的に提供します。

## ■ 高齢者の足を確保

### 充実➡ 移動支援を行う団体に車を貸与（476万円）

高齢者の移動を支援する団体に、市が車を無償で貸し出し、移動手段の確保をサポートします。

令和7年度は、新たに1台を帷子地区の団体へ貸し出し、移動支援を利用できる地域を広げます。

## ■ いつまでもすこやかに、毎日をおだやかに

### 高齢者サロン支援・介護予防普及啓発事業

（2,143万円）

地域で高齢者サロンを運営している団体を支援し、高齢者同士が気軽に交流し、ふれあえる場をつくれます。また、介護予防の普及啓発の一環として、地区センターなどで簡単な体操や脳トレを行う「まちかど運動教室」を開催し、健康づくりをサポートします。

### 充実➡ 健（検）診費用の助成（2億357万円）

病気の早期発見・治療を進めるため各種健（検）診を行っており、一部の健（検）診について費用負担を軽減します。

令和7年度は、65歳以上の方の肺がん検診を無料にします。また、国民健康保険に加入されている方について、特定健診の自己負担額を500円に引き下げ、新たに一部の年齢を対象に脳ドックの受診費用に対して1万円を助成します。

市が貸し出した車と、移動支援団体の皆さま



まちかど運動教室の様子



重点方針

# 地域・経済の元気づくり



いきいきと働き暮らせるまちを目指して



## ■ スポーツによる魅力づくり

### 運動公園整備事業（2億5,300万円）

可見市運動公園を、多くの人が集まる多世代交流の場として、また広域的な防災拠点として整備し、令和8年度の完成を目指します。既存のカヤバスタジアムやテニスコート、弓道場などを含め、訪れた人がさまざまなスポーツを楽しめる総合的な市民スポーツの拠点へと発展させていきます。

整備中の運動公園



## ■ 地域産業の担い手づくり

### かにっこlaboバスツアー（100万円）

小中学生などを対象に、職場見学やワークショップを開催し、親子で楽しみながら市内企業を知る機会を提供します。

この取り組みを通じて、若い世代の市内企業への就職を促進していきます。

職場見学&ワークショップバスツアー



## ■ 可児の企業魅力発見フェア（400万円）

地元の高校生などを対象に、可見市で活躍する企業の魅力を知ってもらうため、市内事業者の合同企業説明会を開催します。

## ■ ふるさと納税を通じた可児の魅力PR

### ふるさと応援寄附金経費（7億円）

新たな返礼品の開発やポータルサイトの充実を進め、さらなる寄附の増加を目指し、市の魅力を全国に発信していきます。



# まちの安全づくり



安全安心な暮らしを守るために



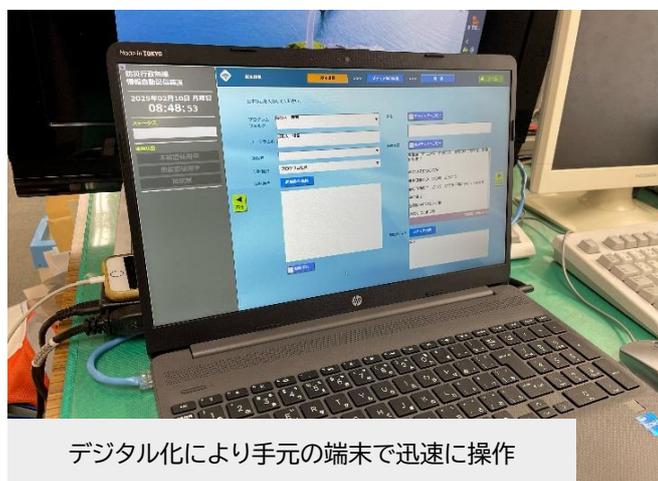
## ■ 災害に強いまちづくりを

### 充実 ▶ 防災行政無線デジタル化工事（4億6,400万円）

老朽化した防災行政無線のデジタル化を進め、災害時に安定して情報を伝えられるよう整備します。令和7年度は、屋外放送用機器や、災害対応する職員と連絡を取り合うために使う無線機などをデジタル化し、より迅速な情報伝達ができる環境を整えます。

### 防災情報の発信（5,300万円）

水害リスクを可視化する雨水出水浸水想定区域図の作成や、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の追加に伴うハザードマップの修正を行い、各地域の災害リスクについて市民の皆さんへ情報を発信します。



デジタル化により手元の端末で迅速に操作

## ■ 市内の道路を安全・快適に

### 道路舗装の改修（5億円）

幹線道路だけでなく生活道路も含め、傷んだ道路の舗装改良を進め、歩行者や車が安全に通行できる環境を整えます。令和7年度は、前年度よりも大幅に予算を増やし、より多くの道路を整備し、安全で快適なまちづくりを進めます。

### 渋滞の解消に向けた調査・設計（1,000万円）

通行量の多い塩河地内の交差点（市道23・41号線）について、安全でスムーズに通行できるようにするため、調査・設計を行います。



舗装が改修されて走りやすくなった  
市道50号線（虹ヶ丘）

## ■ いつでも安定した水道水の供給のために

### 水道施設の耐震化・更新（10億8,036万円）

災害時でも安定して水を供給できるよう、送水管などの耐震化を進めます。また、将来にわたって無駄なく水を届けられるようにするため、配水施設の集約などによって、より効率的な配水体制を整えます。

# DX

## デジタル技術を活用して生活を便利に



### ■ 市からのお知らせをデジタル化

#### 新規 デジタル通知サービス導入経費（1,364万円）

これまで郵送でお知らせしていた通知をデジタル化し、スマートフォンで受け取れるようにします。

デジタル通知の導入により、郵送よりも早く、いつでもどこでも市からのお知らせを確認できるようになり、紛失する心配もなくなります。



デジタル通知のイメージ

# GX

## 環境にやさしいまちづくり



### ■ 脱炭素化社会に向けて取り組みます

#### 太陽光発電設備等設置費補助金（2,300万円）

住宅にソーラーパネルや蓄電池を設置する際の費用を助成し、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用を広げていきます。

### ■ 公用車を電気自動車に

#### 電気自動車等購入費（1,525万円）

公用車の更新にあたり、EV・HV車を計画的に導入し、車から出る二酸化炭素の排出量を減らしていきます。

#### 充実➡ 照明のLED化（4億1,140万円）

公共施設の省エネ化を図るため、各施設の照明をLEDに切り替える時期を早め、積極的にLED化を進めます。LED照明にすることで、二酸化炭素の排出量や電気代を減らすことができます。

#### 新規 太陽光発電設備の設置（2億6,300万円）

庁舎と総合会館の駐車場にソーラーパネル一体型のカーポートを設置し、二酸化炭素の排出量と電気代のさらなる削減を目指します。



庁舎・総合会館駐車場に設置するソーラーパネル(イメージ)



# 一 般 会 計

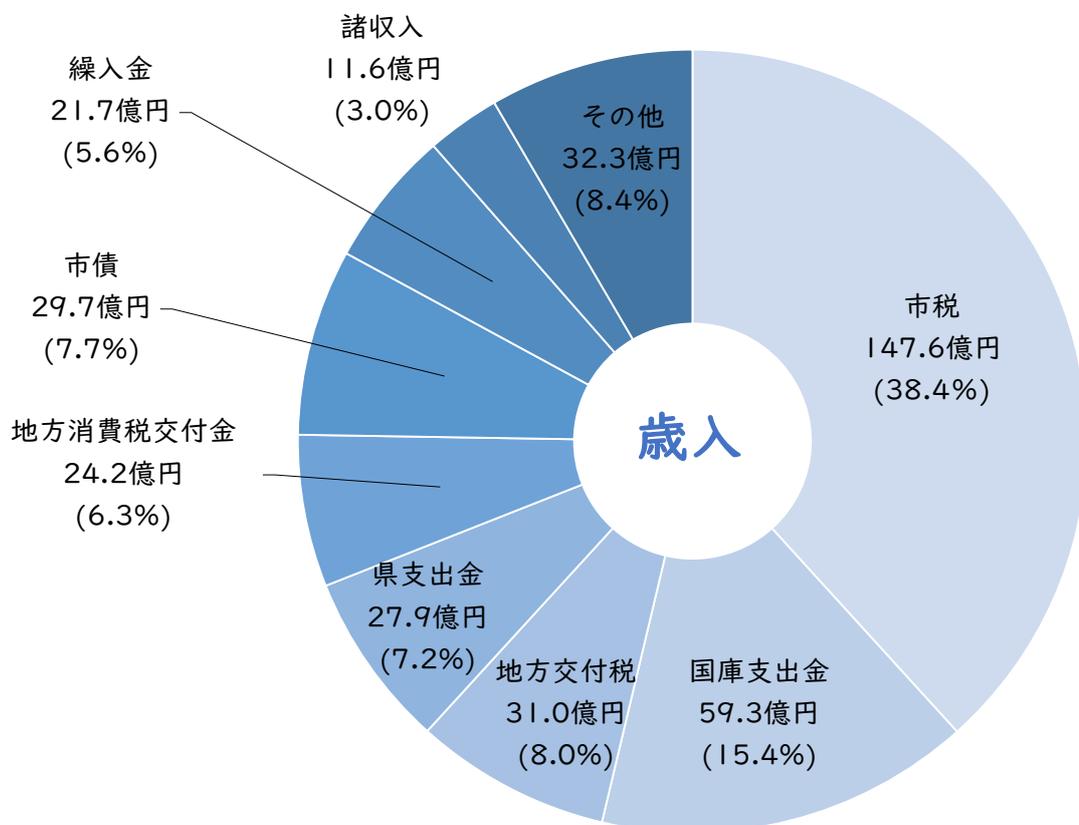
## 資 料 編

## 一般会計 歳入予算額

区 分 科 目	令和7年度	令和6年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増 減 率 (%)
1 市 税	147億5,800万円	138億6,300万円	8億9,500万円	6.5
2 地 方 譲 与 税	2億8,590万円	2億8,430万円	160万円	0.6
3 利 子 割 交 付 金	400万円	400万円	0円	0.0
4 配 当 割 交 付 金	5,000万円	5,000万円	0円	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	4,000万円	4,000万円	0円	0.0
6 法 人 事 業 税 交 付 金	1億6,000万円	1億6,000万円	0円	0.0
7 地 方 消 費 税 交 付 金	24億2,000万円	22億5,000万円	1億7,000万円	7.6
8 ゴルフ場利用税交付金	1億8,000万円	1億8,000万円	0円	0.0
9 環 境 性 能 割 交 付 金	4,500万円	4,500万円	0円	0.0
10 地 方 特 例 交 付 金	1億700万円	6億700万円	△ 5億円	△ 82.4
11 地 方 交 付 税	31億円	27億5,000万円	3億5,000万円	12.7
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	600万円	600万円	0円	0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	6,192万円	7,200万円	△ 1,009万円	△ 14.0
14 使 用 料 及 び 手 数 料	3億7,165万円	3億8,421万円	△ 1,256万円	△ 3.3
15 国 庫 支 出 金	59億2,813万円	54億3,909万円	4億8,904万円	9.0
16 県 支 出 金	27億9,263万円	25億1,076万円	2億8,187万円	11.2
17 財 産 収 入	1億1,659万円	1億1,466万円	194万円	1.7
18 寄 附 金	13億円	7億円	6億円	85.7
19 繰 入 金	21億7,193万円	16億4,919万円	5億2,274万円	31.7
20 繰 越 金	5億円	5億円	0円	0.0
21 諸 収 入	11億6,425万円	11億5,180万円	1,245万円	1.1
22 市 債	29億6,700万円	21億7,900万円	7億8,800万円	36.2
合 計	385億3,000万円	349億4,000万円	35億9,000万円	10.3

※万円未満を四捨五入しているため、合計・増減額が一致しない場合があります。

## どういう名目でいくらお金が入るのか見てみましょう！



### 主な収入の説明

- 市 税** : 市内に住む人が納める個人市民税、市内に事業所を持つ企業などが納める法人市民税、市内に土地や家などを持っている人が納める固定資産税などがあります。
- 国庫支出金** : 国や県が、市の事業へ支援してくれるお金です。
- 県支出金**
- 地方交付税** : 日本全国どこに住んでいても同じような行政サービスが受けられるように、可見市民の暮らしに必要な費用と、市に入るお金を比べて、不足した分を国が補ってくれます。
- 地方消費税交付金** : 物を買ったときなどに支払う消費税の一部が、市にも配分されます。このお金は、幼稚園・保育園の無償化など、社会保障のためにも使われています。

### MEMO

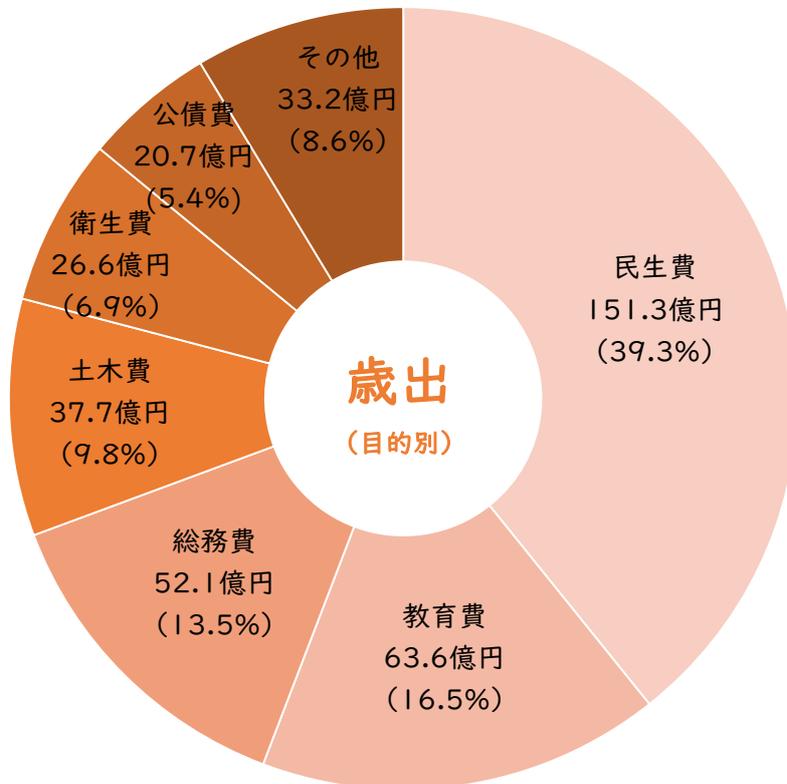
市の収入のうち、市税が全体の38.4%と、大きな割合を占めています。定額減税が終了した影響もあり、前年度より増える見込みです。

## 一般会計 歳出予算額（目的別）

目 的 別	令和7年度	令和6年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
1 議会費	2億6,823万円	2億5,565万円	1,257万円	4.9
2 総務費	52億1,484万円	40億8,659万円	11億2,825万円	27.6
3 民生費	151億2,975万円	135億9,569万円	15億3,406万円	11.3
4 衛生費	26億6,142万円	25億3,115万円	1億3,027万円	5.1
5 労働費	2,044万円	1,925万円	119万円	6.2
6 農林水産業費	6億3,498万円	6億2,039万円	1,459万円	2.4
7 商工費	6億9,473万円	7億6,359万円	△6,887万円	△9.0
8 土木費	37億7,294万円	37億7,783万円	△489万円	△0.1
9 消防費	16億4,760万円	14億8,034万円	1億6,726万円	11.3
10 教育費	63億6,372万円	57億1,974万円	6億4,397万円	11.3
11 公債費	20億7,137万円	20億3,979万円	3,158万円	1.5
12 予備費	5,000万円	5,000万円	0円	0.0
合 計	385億3,000万円	349億4,000万円	35億9,000万円	10.3

※万円未満を四捨五入しているため、合計・増減額が一致しない場合があります。

## 何のために使うのか【目的別】に見てみましょう！



### 主な費用の説明

**民生費**：子どもから高齢者まで、すべての住民が安心して暮らせるように使われる、福祉のための費用です。

**教育費**：幼稚園や小中学校での教育にかかる費用のほか、文化創造センター・アーラや体育施設の維持管理・運営など、文化やスポーツに関する費用です。

**総務費**：市がさまざまな行政サービスを提供するために必要な運営費です。財産の管理や税の賦課・徴収、選挙や統計などにかかる費用も含まれます。

**土木費**：道路の舗装や公園の維持管理など、暮らしに欠かせないインフラの整備にかかる費用です。災害に備えて河川などを改修する費用も含まれます。

### MEMO

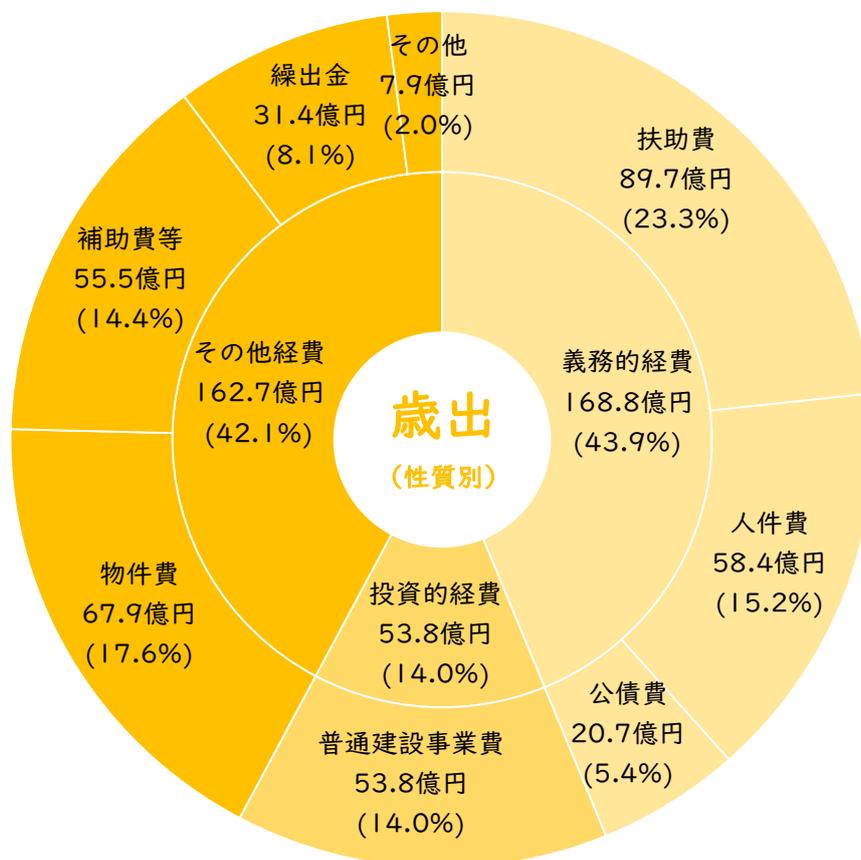
民生費は大切な福祉にかかる費用のため、予算額も一番大きくなっています。特に、障がい福祉サービス給付費や子どもの医療費の助成、高齢者の介護保険や医療保険の負担などに多くの予算が使われています。教育費は、桜ヶ丘小学校の大規模改修や広陵中学校のエレベーター設置、各小中学校のトイレ洋式化工事などにより、前年度よりも予算額が大きく増えています。

## 一般会計 歳出予算額（性質別）

性質別	令和7年度	令和6年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
義務的経費	168億7,752万円	147億5,223万円	21億2,529万円	14.4
人件費	58億3,746万円	53億8,440万円	4億5,306万円	8.4
扶助費	89億6,869万円	73億2,804万円	16億4,065万円	22.4
公債費	20億7,137万円	20億3,979万円	3,158万円	1.5
投資的経費	53億8,152万円	42億9,764万円	10億8,388万円	25.2
普通建設事業費	53億8,152万円	42億9,764万円	10億8,388万円	25.2
その他経費	162億7,097万円	158億9,013万円	3億8,084万円	2.4
物件費	67億8,919万円	60億9,844万円	6億9,075万円	11.3
維持補修費	2億3,404万円	2億3,206万円	198万円	0.9
補助費等	55億5,207万円	57億3,303万円	△1億8,095万円	△3.2
積立金	9,721万円	7,722万円	1,999万円	25.9
投資及び出資金	3億232万円	4億2,623万円	△1億2,391万円	△29.1
貸付金	1億600万円	1億600万円	0円	0.0
繰出金	31億4,014万円	31億6,716万円	△2,702万円	△0.9
予備費	5,000万円	5,000万円	0円	0.0
合 計	385億3,000万円	349億4,000万円	35億9,000万円	10.3

※万円未満を四捨五入しているため、合計・増減額が一致しない場合があります。

## どういうことに使うか【性質別】 に見てみましょう！



### 主な費用の説明

**扶助費**：子どもから高齢者まで、さまざまな福祉にかかる費用です。病気などで生活に困っている人を支援する生活保護や保育園への保育費などがあります。

**普通建設事業費**：道路や公共施設などの整備にかかる費用です。

**補助費等**：ごみ処理を担う可茂衛生施設利用組合や消防・救急を担う可茂消防事務組合の負担金、また個人や各種団体に交付する補助金などの費用です。

**物件費**：各種市民サービスに必要となる業務委託料や物品の購入費などの費用です。

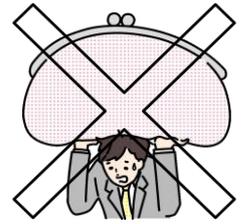
**義務的経費**：人件費や扶助費、公債費といった支出が義務付けられている費用です。減らすことが難しいとされる費用です。

**投資的経費**：普通建設事業費や災害復旧事業費といった施設整備や復旧工事などにかかる費用です。

### MEMO

普通建設事業費は、前年度から10.8億円増加しています。これは、道路舗装の改修や、桜ヶ丘小学校の大規模改修など、インフラや施設を長く使えるようにするための工事が増えたことが影響しています。

# 可見市の借金と貯金

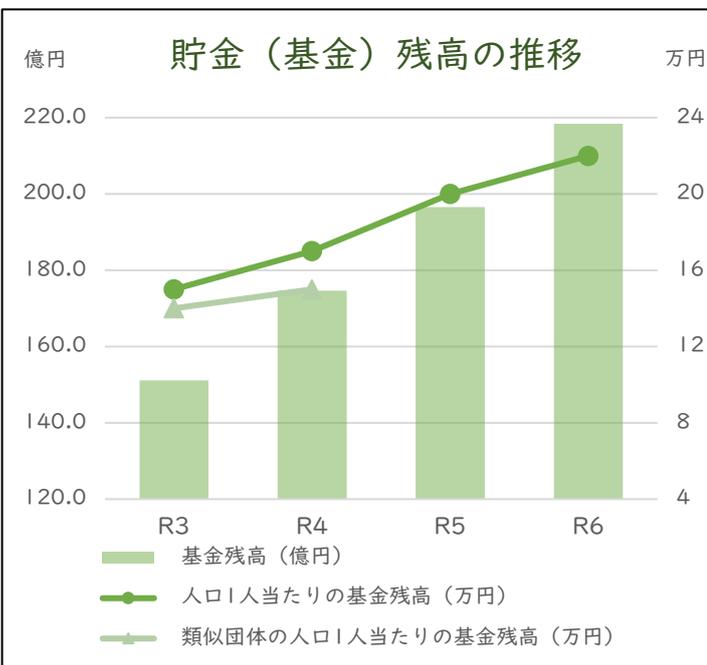
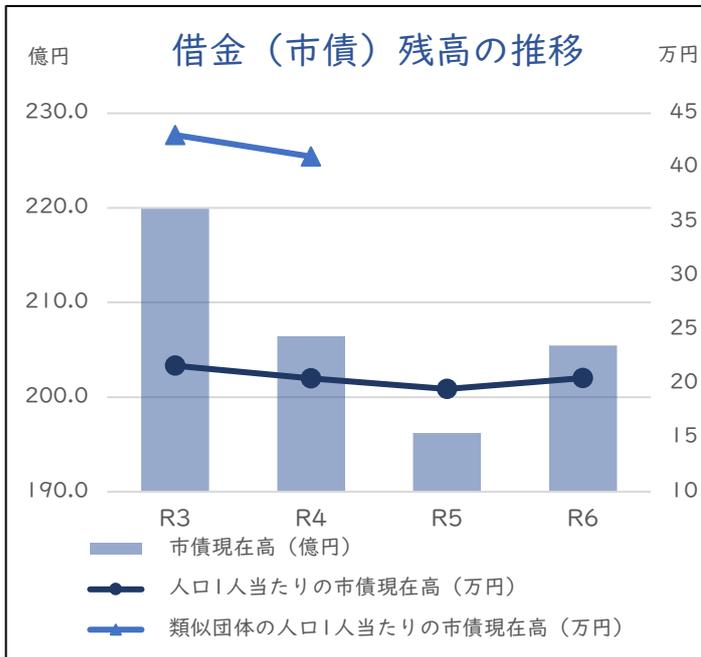


## 将来世代に負担が掛からないように

市債は可見市の借金にあたるものです。市債残高は、大型事業の終了などもあり、令和2年度をピークに減少していましたが、照明LED化事業などを進めるため、新たな借入を増やしたことで増加に転じています。とはいえ、類似団体（※）と比較すると、人口1人当たりの市債残高は半分程度となっています。

今後も将来世代への負担が大きくならないように運営していきます。

※ 類似団体：可見市と同じような人口規模や産業構造を有する自治体。（関市、愛知県犬山市など）



## 備えあれば憂いなし

基金は可見市の貯金にあたるものです。基金残高は、平成23年度末では72.3億円でしたが、令和6年度末には218.4億円となる見込みです。類似団体と比較しても、人口1人当たりの基金残高はやや上回る金額で推移しています。

今後も予期せぬ災害や老朽化する公共施設の更新費用など、市民の皆さんの生活に影響が出ないようにしっかりと備えていきます。

### MEMO

#### 借金（市債）について…

お金を借りることができる事業は、道路や施設の整備などに限られますが、これらは将来にわたって多くの人を使うものです。お金を借り分割で支払うことで、将来にわたり広い世代で負担していくという機能もあります。

詳しくは

可見市 わかりやすい予算



問合せ先： 可見市役所財政課 ☎62-1111